

多文化フィールドスタディー（3・4年次）

— 中国での調査を終えて—

【共通調査】

中国人大学生の土産物購買行動

—訪日観光客向けの新商品開発のために—

<研修期間>

2016年8月6日～8月26日

<研修場所>

中国 北京

<調査方法>

北京師範大学内でのアンケート調査



<新たな気付き（学生からの体験談より）>

調査中に予想以上に日本語を学習している大学生と出会い、彼らの間の高い対日関心を肌で感じると同時に、我々の側でも中国理解を深める必要性を実感した。また対日関心の高さから、調査テーマである商品開発の可能性も再認識した。

【個別調査】

学生の報告書から（多文化コミュニケーション学科3年生）

「中国におけるごみの分類について」

調査期間：2016年8月6日～8月20日 場所：中国 浙江省、上海

徐 密 (XU Mi)



<調査について>

調査地における大学生と近隣住民に対するアンケート調査

<新たな気付き>

母国でのアンケート調査では言語上の問題はなかったのですが、中国では信頼関係が重要で、初めて会った人に対しては警戒感が強く、街でのアンケートはそれほどうまく出来ず、知り合いにも依頼した分も加え50部を回収しました。

「中国人の海外旅行」

調査期間：2016年8月6日～8月26日 場所：中国 北京

菊田 くるみ (KIKUTA Kurumi)



<調査について>

北京師範大学内の人々に対するアンケート調査

<新たな気付き>

中国語力に不安があったのですが、現地にいる多くの人が協力的でスムーズに調査することができました。このアンケートを機会に現地にいる多くの人と交流することができ、さらに中国語の会話練習にもなり中国語能力向上にも繋がりました。

「ネット通販に対する意識調査」

調査期間：2016年8月6日～8月26日 場所：中国 北京

古谷 夏美 (FURUYA Natsumi)



<調査について>

北京師範大学の学生に対するアンケート調査

<新たな気付き>

中国語にあまり自信がなく、学生に話しかけるのはとても緊張しました。しかし多くの学生が快く協力してくれて少しずつ声を掛けることに抵抗がなくなってきました。また中国語を使って話をすることで中国語能力も向上しました。

「中国人の栄養観について」

調査期間：2016年8月6日～8月26日 場所：中国 北京

篠原 怜美 (SHINOHARA Satomi)



<調査について>

北京師範大での中国人学生に対するアンケート

<新たな気付き>

私はあまり中国語が話せないため、文化の異なる国でアンケート調査をすること自体不安でした。しかし多くの学生が快く協力してくれ徐々に恐怖心や不安はなくなり、結果として自分の殻を少し破ることができ、また中国語も僅かですが向上したと思います。

「バスの乗車時の席の譲り方」

調査期間：2016年8月10日～8月15日 場所：中国 浙江省

章 莉丹 (ZHANG Li Dan)



<調査について>

地元余姚の人の流れの多い場所で、アンケート調査を実施

<新たな気付き>

道行く人に声をかけること自体が難しかった。初対面の人たちにアンケートを行う際、調査をお願いする相手には決まって警戒心を感じたが、自分から積極的にアンケートをする理由を説明すると、皆楽しく協力してくれた。

「中国人学生の朝食について」

調査期間：2016年8月6日～8月26日 場所：中国 北京

進藤 春花 (SHINDO Haruka)



<調査について>

北京師範大学内でのアンケート調査

<新たな気付き>

最初は中国語で話しかけることに緊張していましたが、アンケートに快く答えてくれる人が多く安心しました。日本では朝食を食べない学生も少なくありませんが、中国の学生は朝食を食べる学生が多く、日本との違いを感じました。

「中国の出版業界について」

調査期間：2016年8月6日～8月30日 場所：中国 北京・上海

石川 千晴 (ISHIKAWA Chiharu)



<調査について>

北京、上海市内の書店での実地調査

<新たな気付き>

北京と上海の書店を巡ったことで、人気のある日本人作家、コンテンツ、日本と違うラインナップなどを知ることができました。来年は自分の力で中国を訪問し、企業見学をさせて頂いた企業でインタビューなどをしてみたいです。

「中国人学生のスマートフォン選好度」

調査期間：2016年8月6日～8月26日 場所：中国 北京

田端 智明 (TABATA Tomoaki)



<調査について>

北京師範大学内でのアンケート調査

<新たな気付き>

最初は中国語をほとんど話せなくて大変だったが、段々慣れてくると、ある程度の言葉のキャッチボールができるようになった。しかし、話せるようになってから断られる回数が増えていった。なんとか期限までにやり切り、中国語の向上と達成感を大いに感じた。

「中国人の外出方法について」

調査期間：2016年8月6日～8月24日 場所：中国 北京

武田 美由紀 (TAKEDA Miyuki)



<調査について>

北京師範大学内における若者を中心としたアンケート調査

<新たな気付き>

最初は答えてくれる人が少ないのではないかと不安でしたが、話しかけてみると皆さん協力してくれ、無事目標枚数を集めることが出来ました。アンケートに回答してもらうのは一瞬の時間ですが、たくさんの人と関わることが出来、また調査中の会話は中国語の練習にもなり、私にとって有意義な体験となりました。

「仕事がライフスタイルに与える影響」

調査期間：2016年8月6日～8月10日 場所：中国 貴州省貴陽

潘 萌 (PAN Meng)



<調査について>

デパート前で主に社会人を相手にアンケート調査を実施。

<新たな気付き>

異なる仕事が生活にどのような影響を与えるかを人が集まるデパート前で調査をしました。当初は断られることが多いかと思いましたが、予想以上に皆さん協力的で、人の優しさを感じました。